



杉本道生議員

**問** ●川根高校に川根茶コースの設置は可能か  
●耕作放棄地の対策は講じるのか

町長 職員定数が全体の定数の中から普通科の教職員、茶関係コースの教職員と配分されるため、現在の中高一貫や特進教室の運営に影響が出ることが考えられます。また、学科設置と同様にこのコー

うなものを取り入れて、議員の御提案のよ

うなものが取り入れ

希望するが、可能なことか伺います。

町長 まず生徒の意向あるいは地域の意向も兼ね合わせながら検討していくことが大事か

町長 農業委員会の調査結果を受け耕作放棄面積は25ha認識している。今後は、現在の茶畑改良事業、自力作業道新設事業等を維持しつつ、茶園の段差解消や畝方向の統一といった小規模の基盤事業に対する支援の必要性、可能性についても調査検討を進め、茶業振興の根底である町内茶園の基盤整備を推進していきたいと考えております。耕作放棄地のこれ以上の拡大の防止、並びに減少に取り組んでいきます。



放棄された茶園

町長 農業委員会の調査結果を受け耕作放棄面積は25ha認識している。今後は、現在の茶畑改良事業、自力作業道新設事業等を維持しつつ、茶園の段差解消や畝方向の統一といった小規模の基盤事業に対する支援の必要性、可能性についても調査検討を進め、茶業振興の根底である町内茶園の基盤整備を推進していきたいと考えております。

町長 農業委員会の調査結果を受け耕作放棄面積は25ha認識している。今後は、現在の茶畑改良事業、自力作業道新設事業等を維持しつつ、茶園の段差解消や畝方向の統一といった小規模の基盤事業に対する支援の必要性、可能性についても調査検討を進め、茶業振興の根底である町内茶園の基盤整備を推進していきたいと考えております。

町長 農業委員会の調査結果を受け耕作放棄面積は25ha認識している。今後は、現在の茶畑改良事業、自力作業道新設事業等を維持しつつ、茶園の段差解消や畝方向の統一といった小規模の基盤事業に対する支援の必要性、可能性についても調査検討を進め、茶業振興の根底である町内茶園の基盤整備を推進していきたいと考えております。

町長 農業委員会の調査結果を受け耕作放棄面積は25ha認識している。今後は、現在の茶畑改良事業、自力作業道新設事業等を維持しつつ、茶園の段差解消や畝方向の統一といった小規模の基盤事業に対する支援の必要性、可能性についても調査検討を進め、茶業振興の根底である町内茶園の基盤整備を推進していきたいと考えております。

質問 第62回全国茶品評会におきましては、産地賞、農林水産大臣賞を授賞でき、銘茶産地、川根茶の名声を保つことができました。アウェイでも、川根茶はやはり強かったと強烈な印象づけを内外に発信することができました。一方、生産現場におきましては、リーフ茶の消費減退による茶価の低迷、後継者不足等茶業を取り巻く状況は大変厳しい状態に置かれております。私は、後継者対策の一つとして、川根高校に川根茶コースの設置を希望するが、可能なことか伺います。

質問 県産業教育審議会におきまして、職業教育のあり方や学課の再編などを盛り込んだ職業教育の改善と充実体制整備の基本方向を県の教育長に答申したと、新聞にも掲載されておりました。既に導入している普通科への職業科目の一層の推進が必要とうたっております。

質問 本町の農地面積は約600haあり、昨年まで耕作放棄地が12haとされておりまして。本年農業委員会の調査で27haに増加しており、打開策を伺います。

質問 借地希望者に対し基盤整備をして貸し出す計画はあるのか伺います。

**答**

- 川根高校に新たな学科設置は、県においても厳しい状況にあると思われる
- 耕作放棄地のこれ以上の拡大の防止、減少に取り組んでいく